



# 学校だより



青梅市立東小中学校  
令和5年度 第3号  
令和5年7月1日

## 最後まで自分を信じていこう！

校長

6月15日（木）に関東少年野球大会が群馬県の前橋市民球場で行われました。野球部の選手たちは、この関東大会に向けて一人一人、課題をもって練習を積み重ねてきました。対戦相手は神奈川県ของทีมです。試合は、誠明学園の先攻で始まり、その1回表に先頭打者ホームランが出て1点リードしました。ところがその1回裏に、すぐに逆転されてしまい、その後も追加点を取られて点差が大きく開いてしまいました。なんとなく負けてしまうのではないかなという試合展開になっている中で、誠明学園の野球部の選手たちのプレーが素晴らしかったです。

それは、最後まであきらめないという気持ちがプレーにみなぎっていました。点を取られても、次の打者には打たせまいとして投げ続けるピッチャー。守っている選手たちは、ボールが飛んで来たら、何とか捕球してアウトにしようとする一生懸命さ。バッターで打席に立ったら、来た球を思いっきり振り抜いているバットスイング。どのプレーも点差に関係なく、自分のプレーを最後まで頑張ってやり抜くのだという思いが伝わってきました。

その気持ちが点にもつながり、誠明学園は3点の追加点を取ることができました。試合は4-10と負けてしまいましたが、試合に勝つこと以上に野球部の選手たちは多くのことを学んだことと思います。

人は、目標にしていたことが無理だと分かった瞬間にあきらめて、取組がいい加減になることがあります。こうなると後は何も起こらず、どんどんできなくなっていくます。野球部の選手たちは、点差が開いても、プレーを一生懸命にやるという気持ちをもち続けて取り組んでいた結果、だんだんと点差が縮まっていきました。いつも惑わされるのは自分の心、気持ちです。自分に強く、目標に向かって取り組んでいけば、必ず奇跡は起こります。よく負けていた試合を土壇場で逆転をするというケースは、このように最後まで自分を信じて一生懸命に取り組んだ人に訪れるのですね。最後までやり抜く気持ちを大切にしたいですね。

### 小学生 芸術の春を満喫 演劇鑑賞教室・音楽鑑賞教室

芸術といえば「秋」というイメージですが、小学生はこの時期、一足先に楽しませていただきました。

5月30日（火）には、八王子のJ：COMホールで、劇団四季による「ジョン万次郎の夢」を観劇しました。状況が悪くてもあきらめず、困難を乗り越えていく主人公の姿から、子供だけでなく大人もいろいろと考えさせられる素晴らしい作品でした。

また、今回も調理室の方々にお弁当を用意していただきました。あいにくの天気だったので公園には行かず、教室で学年ごとに食べることとなりましたが、給食のない東小中学校ではこれも思い出深い一コマとなりました。ありがとうございました。

6月16日（金）、福生市民会館において、東邦音楽大学管弦楽団による演奏を聴きました。指揮者の小林恵子さん（日本ウインドアンサンブル首席指揮者）による曲の紹介は、情景が思い浮かべやすい説明があり、演奏を聴くのが楽しくなりました。オーケストラで使用する楽器の紹介では、丁寧な説明がありました。学校では見たことのない楽器ばかりでした。一つ一つの音色から、大人数で奏でられる音色を感じることができました。また、会場にいるみんなで「ビリーブ」を歌いました。会場いっぱい広がる自分たちの歌声に、感動したものです。各寮におかれましては、午後の早めの集合にもかかわらず、子供たちを気持ちよく送り出しいただきありがとうございました。

## 学びと心の体験活動 = 「手話体験」 「点字体験」

6月5日(月)、第1回学びと心の体験活動を行いました。手話体験ではグループになり、自分の名前、数字、スポーツなど身近なことを手話で表現しました。点字体験では一人一台点字器を借り、紙に実際に点字を打ちました。どちらの体験も驚きや発見、表現できた喜び等があり、生徒にとっては貴重な時間となりました。様々な人と関わり、他者を思いやる心を育て、体験したことをこれからの生活で生かしてほしいと願っています。

## 春のスポーツ大会 盛り上がる 熱気と歓声 やる気と笑顔

5月13日(土)学園恒例の春のスポーツ大会が行われました。男子は、ソフトボール大会、女子は、ビーチボールバレー大会で熱戦が繰り広げられました。この日のために、各寮とも頑張ってお練習を積んできた成果が発揮できたと感じました。子供たちが目標に向かって頑張っている姿は何よりも嬉しい気持ちにしてくれます。そして、驚いたのは、子供たちのやる気だけでなく、本気で取り組む学園の先生方の熱気です。先生方のプレーを通して、スポーツ大会を楽しむ大切さを伝えてくれていました。子供たちのために全力を尽くす姿は心打たれるものがありました。

今年も、教職員チームも参加することができました。当日のチーム編成にもかかわらず、一人一人の力を合わせることができる本校や学園の先生方は、やはり素晴らしいなと感じたところです。

そして何よりも大会を企画・運営していただいた学園の先生方に感謝しております。

## 道徳授業地区公開講座 活発な意見交換会

6月14日(水)道徳授業地区公開講座を行いました。学園から多くの方に授業参観していただきありがとうございました。意見交換会においては、「寮での子供たちの関わる中でとても参考になった。」とご意見をいただきました。これは、学校にとってとてもうれしい言葉です。今後も道徳授業を通して、計画的に児童・生徒の「正しく判断し行動できる実践力を養う」「規範意識をもち、集団の一員として相手を思いやる豊かな心を身に付けさせる」ことを目標に取り組んでまいります。

講師として、多摩教育事務所指導課長 吉成 嘉彦 様には、世界と日本の若者の意識に関する調査の結果からみる違いなどから、『「自己指導力」を身に付けることが大事』であるご指導いただきました。学校教育活動の中で、子供自身の「自己指導力」を高めていきたいと思っております。

## 野球部 3年ぶりの大会参加！

6月15日(木)3年ぶりに関東少年野球大会に参加しました。雨天も心配されていましたが、グレースイン前橋市民球場において、おおいそ学園と対戦しました。ホームランが2本出るなど大いに健闘しましたが、4-10で敗戦となりました。6点差での敗戦となりましたが、点差ほどの実力の差はなかったように感じます。試合序盤は慣れない試合での緊張感でいつも通りの力が出せず、ミスが連鎖し大量失点してしまいました。しかし、4回以降は徐々に自分たちのペースを取り戻し、練習通りの守備が出始め、0点で抑えることができました。普段味わうことができない緊張感の中でプレーをできたことは、大変貴重な経験となりました。

今回は、4月当初から「大会に参加して試合をするだけでなく、試合に勝つためにそれぞれの技術を高め大会に臨もう」と話していました。生徒は一人一人課題をもって日々の練習に取り組んでいました。結果は悔しいものになりましたが、確実に野球の技術もレベルアップしています。次の対外試合はしばらくありませんが、次こそ試合で結果が残せるよう、これからの練習にもより一層熱が入ることでしょう。

最後に、大会に参加するにあたってご協力いただいた学園・学校の先生方、本当にありがとうございました。